



広 報

いいたて

<http://www.vill.iitate.fukushima.jp>

平成16年

9 SEP
月

No 491



おれこれ
活力あふれる
コンサート・ライブ
いいたて

ランタンの灯りに包まれ響く歌

—Yae Live 2004 in 飯舘村—

8月20日、あいの沢の民家園にて、シンガーソングライターのYae(ヤエ)さんを招き「Yae Live 2004 in 飯舘村」が行われました。

ふれあいコンサート実行委員会(草野悠紀実行委員長)主催による今回のコンサート。Yae(ヤエ)さんは昨年に続き3回目の来村公演で、ギタリストの木下尊^{たかあつ}さんがジョイントし13曲を披露。訪れた人たちは、ランタンの灯りで味わい深い雰囲気の中に響くYaeさんの歌声に聞き入っていました。

新市の名称は

『ひばり野市』



飯館村、小高町、鹿島町、原町市の4市町村による市町村合併は、8月21日に原町市にて開催された第9回合併協議会において、新市の名称が「ひばり野市」に決まりました。また、議員定数と任期、農業委員の定数と任期の取扱いなどについても決定されています。

これまで合併協定項目の調整状況は、50項目のうち43項目が提案され、35項目が決定されています。

今回は、第9回合併協議会で決定された項目の中から主なものについてご紹介します。

新市の名称

新市の名称が「ひばり野市」に決まりました。

選定理由は、

- ・相馬野馬追祭の祭場地である雲雀ヶ原をイメージできる。
- ・のどかで豊かな田園都市をイメージできる。

などです。

議員定数及び任期

○在任特例
合併特例法により、現在の議会議員を9カ月間引き続き新市の議員として在任します。

その間の議員報酬額は、3月までの6カ月間はそれぞれの市町村の現在の報酬額とし、4月以降の報酬額については、新市の特別職報酬等審議会において調整されます。

○議員定数と選挙区
新市の議会議員の定数は30人となります。

新市の設置後、最初に行われる議会議員の一般選挙では、4つの選挙区を設けます。

選挙区ごとの定数は、飯館村4人、小高町6人、鹿島町6人、原町市14人となります。

なお、その後の一般選挙では選挙区は設けません。

農業委員の定数及び任期

○在任特例
新市に一つの農業委員会を置き、4市町村の農業委員会の選挙で選任された委員を合併特例法により、1年間引き続き新市の農業委員として在任します。

その間の委員報酬額は、原町市の報酬額とし、その後の報酬額については、新市の特別職報酬等審議会において調整されます。

○委員定数と選挙区
在任特例適用後の農業委員会の定数は40人となります。

在任特例適用後の農業委員会の選挙区は、現在の市町村ごとに4選挙区とし、選挙区ごとの定数は、飯館村8人、小高町9人、鹿島町8人、原町市15人となります。

高齢者福祉関係事務事業

○長寿祝金等
喜寿（77歳）を1万円、米寿（88歳）を3万円、白寿（99歳）を1万円前後の記念品、長寿（100歳）を20万円とし、合併の翌年度から実施します。

○敬老事業
現行のとおり新市に引き継ぎ、3年を目途に対象者及び事業費を統一するよう調整します。



▲8月12日に飯館村で開催された第8回合併協議会

作文コンクール優秀賞



新市への希望

飯館中三年 佐野 祐基

（上飯樋）

私が合併に際して希望すること、それは第一に市民全員が、合併をして良かったと思える街作りを考えそれを実行することです。実際に、市民が納得できる街作りに参加してもらうことが大切です。しかし、各市町村の歩んできた歴史や伝統等も尊重しなければなりません。その上で、私は次のことを新市に希望したいと思っています。

まず、市民が安心して暮らせる環境作りをしてほしいと思います。警察官を増やしてパトロールを強化したり、住民で作る自警団等の指導や手助け、消防職員

の増員や各警察・消防署の連携強化等の対策です。

次に、各地域間の人的交流や道路整備を行ってほしいと思います。合併しても各地域間のつながりが薄ければ、合併の意味がないと思うからです。医療、福祉の面でも今まで以上の充実が大切になってくると思います。人材の育成や設備充実、過疎地域への医療支援が大切だと思います。財政の面でも、無駄をはぶき、必要なものにお金を使ってほしいと思います。財政のバランスを考えて特色ある産業の活性化をはかってもらいたいと思います。産業の活性化が実現すれば、合併をして良かったと思えるのではないかと思います。

私は、今の四市町村はそれぞれ特色があり、長所や短所があると思います。合併し、各市町村の特色が生かされ、短所が補えあえるような街作りを目指してほしいと思います。新市は、広大な面積を持っています。

また、多くの自然があります。それらを、上手に使い生かしてほしいと思います。特に、少子高齢化の社会では、土地の利用法はとても大事なことです。だからといって無闇に何かを作るのではなく、今何が必要なのか、これがあることで何かしらのメリットはあるのか、環境への悪影響は無いのか等を十分に吟味する必要があります。そのためにも、市の職員や議会議員だけでなく、市民が意見を出し合う必要があります。私は、市民が集まって市政に対しての批判や要望が行える場所が必要だと思います。そして、合併という巨大なプロジェクトは、確実に物事を進めていく上で必要であると考えます。さらに、そのプロジェクトによる恩恵は、市民全体に行き届かなければならないものです。市民がアイデアを出しながら市政に取り組み全国の手本となるような合併・市政になることを私は希望します。